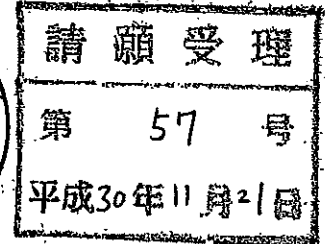


私学助成に関する請願書

提出 平成30年11月21日

三重県議会議長

前田 剛志 様



紹介議員

箱森 裕尚  
大久保 孝栄  
若野 正英  
西 場 信行  
野村 保夫  
長 岡 隆提出者

小 坪 正人  
野 口 正子  
小 島 智子  
山 内 道明  
倉 本 崇弘  
岡 野 惠美  
山 本 里香  
田 中 祐治  
下 野 幸助

住所

三重県津市上浜町一丁目 293 番地の 4

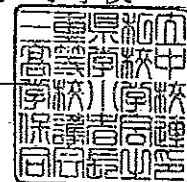
団体名・代表者名

三重県私立高等学校・中学校・小学校

保護者会連合会

会 長 加 藤 健

外 20 名



# 私学助成に関する請願書

## (請願要旨)

### (国庫補助の充実)

- 1 公私間の教育費の保護者負担格差を解消するため、私学助成に係る国庫補助制度を堅持するとともに助成額を大幅に増額し、私立小・中・高等学校の経常的経費 2 分の 1 助成を早期に実現してください。

### (県費補助の充実)

- 2 上記の国の補助に加えて、私立小・中学校への県費の上乗せを実現してください。また私立高等学校生徒への就学支援金の県費による支援の拡充を実現してください。

## (請願理由)

私学助成につきましては、平素から格別の御尽力を賜り深く感謝申し上げます。

私どもは、私学各校それぞれの建学の精神に基づく特色ある教育に魅かれ、私学に子どもを学ばせています。

しかしながら、私学に子どもを学ばせている保護者にとって、公私間の教育費負担の格差は極めて大きく、私学に学ばせることを望む保護者にとって高い障壁になっている深刻な問題です。

将来を担う子どもたちの教育にとって、多様な教育方針の中から自由に選択することができるような教育環境を、今後ますます整えて欲しいものと切に願っています。

特に現在、私立高等学校生徒への就学支援金は、低所得者世帯への加算措置により支援の拡充が図られていますが、支援金の基準額が公立の授業料相当であるため、公立の大半は無償であるのに対し、私立では依然として学費を負担しているのが実情です。

これらのことをご理解いただき、私ども保護者が子どもを安心して私学に学ばせることができますよう特段の御理解と御高配をお願い申し上げます。

以上、請願の趣旨について、貴議会において採択いただき、私学助成の充実を求める意見書を国会及び政府に対し提出していただきたく、また、小・中学校への県費の上乗せ、及び私立高等学校生徒への就学支援金の県費による支援の拡充を実現していただきたく、ここに請願いたします。

(以下、略)

## 私学助成の充実を求める意見書案

私立学校は、建学の精神に基づく個性豊かで特色ある教育を行い、教育の振興及び発展に寄与している。

しかしながら、小学校、中学校及び高等学校における公私間の教育費負担の格差は大きく、私立学校に修学する生徒等の保護者は大きな経済的負担を強いられている。

また、近年における少子化等の影響もあり、私立学校をめぐる経営環境は厳しい状況にある。

よって、本県議会は、国において、私立学校に修学する生徒等の保護者の経済的負担の軽減及び私立学校における経営の健全性向上を図るため、私学助成に係る国庫補助制度を堅持するとともに、経常的経費の助成を拡充するよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

三重県議会議長 前 田 剛 志

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

文部科学大臣